

バラク・オバマ大統領の宮中晩餐会でのあいさつ  
皇居・宮殿  
日本・東京  
2014年4月24日

こんばんは。

天皇、皇后両陛下、本日は私ども一行を格別にご歓迎いただき、ありがとうございます。また今夜は、このように丁寧におもてなしいいただき、感謝を申し上げます。

安倍首相ご夫妻、ご来賓の皆さま。私が母と一緒に初めて日本を訪れてから 50 年近く経ちました。けれども国を遠く離れた 6 歳の少年に示してくれた日本の皆さまの親切を、私は忘れたことがありません。その後、陛下の即位 20 年の年に、大統領として再び日本を訪問した際には、両陛下が歓迎してくださいました。今でも感謝しております。そして今夜、国賓として両陛下と同席させていただき、大変名誉に思います。これは日米両国民の素晴らしい友情のしるしです。

これはまた、この上なく光栄なことでもあります。私は第 44 代アメリカ合衆国大統領ですが、陛下は日本の 125 代目の天皇陛下です。日本の皇室は 2000 年以上の長きにわたり、日本人の精神を体現してきました。今夜、その精神を、陛下の平和への思いの中に感じることができます。またこれまでの困難な日々や、3 年前の東日本大震災の悲劇にもかかわらず、その強さと規律正しさと高潔さ一品格一で世界の人々に影響を与え続けている日本国民の立ち直る力の中にも感じられます。

私は本日、この精神に触れました。荘厳な明治神宮では、日本の古来からの宗教的儀式の美しさを体験しました。安倍首相との会談では、現在の日米同盟を強化することができました。この同盟が壊れることは決してありません。また熱意を持った学生との懇談や、素晴らしい技術の視察を通して、日米両国が協力して築くことのできる将来の姿を垣間見ました。

これらすべてを通じ、日米両国民は、太平洋という広大な海を挟んでいますが、日々あらゆる分野で協力しています。私たちは共に創造し、つくり上げることにより、変化する世界のため新たなイノベーションを生み出します。共に学び研究して、病気を治療し命を救う新たな発見をします。平和を維持し、空腹の人々に食べ物を提供するため、共に世界の果てまで出かけます。宇宙の神秘を理解するため、共に宇宙にも行きます。日本人選手が大リーグのチームの勝利に貢献した時のような喜びの時にも、3 年前のようなつらい時にも、私たちは共にいます。

そのつらく苦しい日々、天皇陛下が皇居から直接、日本国民に語りかけたことを、私たちは決して忘れることはありません。最後に、当時の陛下のおことばの精神を思い起こして、私のあいさつとさせていただきます。なぜなら、この精神は、日米両国の友情と同盟に対する、今夜ここに集まった私たちの願いでもあるからです。

決して希望を捨てることなく、互いを大切に、明日も強く生きていけますように。